

ミハイル・バリシニコフ

Mikhail Baryshnikov

生年月日 1948/01/28

出身地 ソ連／ラトビア共和国

関連人物 アンナ・バリシニコフ（娘）

【バイオグラフィ】

■本名はMikhail Nikolaievich Baryshnikov。エンジニアの父の下に生まれる。10代でキーロフ・バレエ団に入団してアレクサンダー・プシュキンを師事。69年にソリストとしてデビューを果たす。翌年、西側諸国での公演旅行で自国の芸術環境に疑問を感じ、74年のカナダ公演で亡命。同年アメリカン・バレエ・シアターに招かれ、持ち前の肉体美と驚異的なテクニックですぐさまトップ・スターとして活躍を始める。78年から一年間、ニューヨーク・シティ・バレエ・カンパニーの芸術監督に就任した。映画へは77年の「愛と喝采の日々」でデビュー。自身の体験を基にしたような85年の「ホワイトナイツ／白夜」でもグレゴリー・ハインズと共に素晴らしいダンスを披露していた。一時ジェシカ・ラングと恋仲になり、二人の間には一児がある。

【フィルモグラフィ】

アニー・リーボヴィッツ レンズの向こうの人生 (2007)	出演
SEX AND THE CITY (Season 6) (2003~2004)	出演 :アレクサンドル
ロシアン・ルーレット (1991)	出演
ダンサー (1987)	出演 :トニー・セルゲイエフ
ホワイトナイツ／白夜 (1985)	出演
ザッツ・ダンシング! (1984)	出演
愛と喝采の日々 (1977)	出演 :ユーリ